

平成31年度 第1回 遊佐町総合教育会議 議事録

会議日時 平成31年4月12日（金曜日） 午後4時
会議場所 遊佐町防災センター 2階 会議室
開会時刻 午後4時
閉会時刻 午後4時23分
出席者 ・ 構成員 遊佐町長 時田博機
(教育委員会) 教育長 那須栄一、第一教育長職務代理者 渡邊宗谷、
第二教育長職務代理者 石川茂稔、委員 石山幸子、
委員 齊藤敦子
・ 説明調整員 総務課長 堀修、企画課長 高橋務
・ 事務局 教育課長補佐兼総務学事係長 鳥海広行、同課長補佐兼文化係長
阿部秀雄、同課長補佐兼社会教育係長 後藤夕貴
・ (欠席者) 教育課長 高橋善之、指導主事兼学校指導係長 佐藤健太郎
傍聴人 なし

協議事項 (1) 遊佐町立小学校適正整備に関する基本方針について
(2) その他

協議内容の概要

事務局 ただ今より平成31年度第1回遊佐町総合教育会議を開催いたします。
初めに時田町長よりご挨拶をお願いします。

町長 小学校の適正整備につきましては、全体を俯瞰した視点を持って議論していただき、ありがとうございました。どうもその「私の考えだけが正しくて私以外は正しくない」その偏狭な見方からすると私はオール遊佐の英知の中で1番大切な5番目と言っていますが、違いを認め合う柔軟性、相互理解、寛容性を調整していかないと民主主義は成り立たなくなるという思いでありますので、良いものは良いとみんなであたえ合いながら、違いはしっかりと認め合うことが子どもたちの教育にとっても非常に重要なのかなと思っております。本日はご苦勞様でございます。

事務局 ありがとうございます。協議に入る前に、出席状況の報告をさせていただきます。会議次第の裏面をご覧ください。教育課長の高橋善之及び学校指導係長の佐藤健太郎は、所用により欠席となっております。
それでは、協議に進ませていただきます。座長につきましては、本要綱第3条「会議は、町長が招集し、その座長となる」とありますので、時田町長をお願いします。

町長 それでは、会議次第にあります(1)遊佐町立小学校適正整備に関する基本方針についてを議題とします。事務局より説明をお願いします。

事務局 <説明>

町長 (1) の案件について説明いただきました。皆様方から、何かご質問、ご意見等はございませんか。

教育長 先ほどの会議でも申し上げましたけれども、実は中学校の入学式での1年生の誓いの言葉、あの文言、大変心に残っています。「小学校の時はクラスメイト12名で6年間同じメンバーで過ごしてきた。今日は100名を超える仲間と出会い、中学校での生活が始まった。4クラスあり2年次にはクラス替えがあると聞いている。多くの仲間ができ学び合えるのが今から楽しみで嬉しい気持ちでいっぱいである」という趣旨の大変立派な誓いの言葉があったと思います。やはり子どもたちもいっぱい集まって切磋琢磨できるという環境を望んでいるのだという思いの一端をお聞きしたという思いで聞いておりました。もう1点、今日健康福祉課から情報が入ってきたのですが、昨年度、平成30年度に生まれた子どもたち64名で確定したそうです。14日まで一応あるわけですが、決まったのだと思います。64名。一昨年度が65名だと記録しています。としますと学年いよいよ2クラスという流れがやってくるのだと、もちろん70名を超す年も当然あってほしいし、町長は定住促進をがんばっているわけで、そういう流れがひたひたと来ているということで、今、色んなご意見がありますけれども、思いを新たにして次のステップに行つて子どもたち並びに保護者の期待に応えるタイミングではないかと思っておりますので、教育委員会として決議させていただきました。

町長 ありがとうございます。他は総務課長、企画課長どうでしょうか。

総務課長 2023年という、もう4年後なのでしっかり町の財政としてもその校舎等々の整備、あと、スクールバスもあります。さらに空き校舎も当然出るという話になるので、それら含めて財政含めて、一体的に準備を進めていかなければいけないという思いをしたところであります。町としても全面的に教育委員会と一緒にバックアップしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いしたいと思います。

教育長 関連して、総務、企画は庁舎の方で今年度は目一杯だと思いますけれども、折を見つけて、当然これだけの環境整備をするには予算が伴いますので、義務教育基金が2億2000万円ほどあると見ておりましたので、今年度予算には反映できないわけですが、来年度予算以降の年次計画に義教の貯金も含めて、やはりバスが何台いいのか、バスは現在歩いている子どもたちも冬期間乗せてほしいとか色んな要望があるようですので、いずれ遊佐町の子はバスに乗るという流れに行くと思っておりますので、億単位で予算はかかることになるとは思います。小学校5校あったのが1校になれば軽減される予算の面も出てくるわけですので、その辺もお互いシュミレーションしながら、新庁舎の建築の流れがだいたい見えてきた段階ではしょっちゅう集まっていただいてシュミレーションなり付きあわせていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

企画課長 庁舎建設に続いての大きな事業と思っております。毎年9月になりますと振興計画の

実施計画の策定もやりますので、そういったところにしっかり位置づけながら取り組んでいかなければと思ったところでもあります。

町長

私から一言、実は3月議会で今の子どもたちの生まれた数はいくらかと聞いたところ、800人、ところが小学校の在校生は、小中学校の854人という話。定住促進も確かにやっているのですが、今の子どもで途中から遊佐町に来た子が9年間で50人もいたということを見れば、これからもますます定住促進をがんばっていかねばならないことは間違いないと思っていますので、定住促進、後藤補佐が今は教育委員会だが、これまで企画の補佐で一生懸命がんばってくれていましたので、引き続いて町としては定住促進を進めたいと思っています。ただ酒田が小中一貫にしなればまずいという声も上がっていると伺っています。7つくらいにしなれば。子どもの数が減っている状況があって、一條小が6人、八幡小が20人ということです。本楯を入れて何十人になるか分からないが、本当に部活も危うい時代が来る状況ですから、しっかりその辺も遊佐町としてはいち早く小学校中学校一貫校に取り組んでいく姿勢の中で施設とそれから移動のスクールバスの手段と、準備を抜きなくやっていけると思います。いかなければなんて、いく予定であります。よろしくお願ひしたいと思います。

教育長

私から今の関連で、小中一貫、あと小学校1つ、中学校1つ、黙っても小中一貫になってくると思います。この審議会でも途中で小中一貫校の京都から統括首席指導主事に来ていただいて研修をしていますし、そういう流れを見据えて当面は小学校を1つにすることに思いを傾注して、やがて小中一貫、そしてやっぱり中学校の教室、今4学級ありますが、来年度以降から学年3つになってくる。教室が余っていますので、社会教育であそこも活用するとか学社連携、まさにコミュニティ・スクールをこれから小中一貫校と合わせて大事にして、まさに地域、家庭、学校が共に学び合うそういう学校環境にしていく、そういうふう位置づけていきたいと思っています。財政面でもよろしくお願ひします。

町長

他にご質問、ご意見等ございませんか。

(「なし」の声あり)

町長

それでは、これをもって質疑を終了いたします。
会議次第の方には、(2) その他、とありますが、何かありますでしょうか。

事務局

特にありません。

町長

私からですが、遊佐高等学校にまさに今年1年が存亡の危機がきた。優秀で、学習勉強も良いのはいいが、学習塾もやっていただいて、何とか20人以上確保しなければならぬ。まず教育委員の皆さんの力を借りて何とか存続の方向、今年最大のテーマだと思っていますので、よろしくお力添えを賜りたいと思います。

教育長 先ほど言ったように子どもの数がどんどん先細りしていくように見えますので、これを地元の中だけで満たすことはこれから不可能に近いと思います。定住にいた後藤補佐もおいでになったわけですので、県外からなんとか今年度道を付けて来年1人でも2人でも来て、東京でも千葉でもどこでもいいので来てもらって遊佐に行つて勉強して良かったという流れを作っていかないと先行きは見通しが思うようには行かないと思いますので、いい情報があったら遠慮しないで親戚でもいいですし見ず知らずの方でもこういう人がいるとなったらどうか社教でもこちらでも企画でもいいので教えてください。

町長 他にないようですので、事務局にお戻しします。

事務局 慎重審議、ありがとうございました。以上をもちまして、平成31年度第1回遊佐町総合教育会議を閉会いたします。